

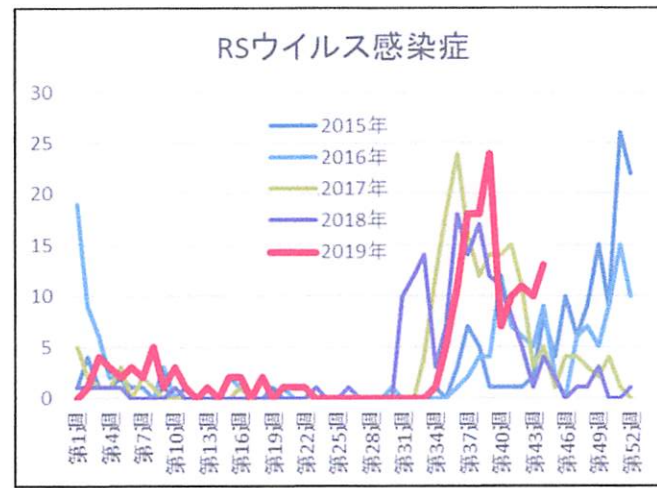
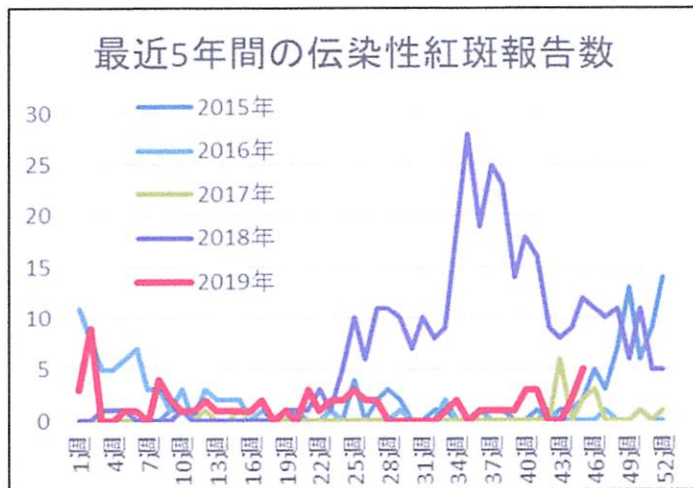
# 週間感染症情報

2019年44-45週 2019年10月28日より2019年11月10日まで

44週 45週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)	1	
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	15	7
手足口病	18	9
ヘルパンギーナ	2	
伝染性紅斑	2	5
感染性胃腸炎	14	17
ロタウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	3	4
伝染性膿痂疹(とびひ)	1	5
ヘルペス性口内炎	0	0
アデノウイルス感染症	3	6
RSウイルス感染症	13	6
マイコプラズマ感染症		
ヒトメタニューモウイルス		
インフルエンザ(臨床診断含む)		
インフルエンザA		
インフルエンザB		

遅くなりましたが44週-45週二週間分の報告です。患者さんは少ないです。インフルエンザもありませんでした。朝晩寒くなり、感冒症状の患者さんが増えています。犬吠様の咳が特徴のクループの症例が増えています。水痘は市内小学校2年でワクチン未接種でした。溶連菌感染症は、山手小、常盤小、総社小、西小、等小学生の報告が多かったです。手足口病が増えました。川西地区の保育園などで流行しています。微熱程度で、口内疹の目立つ症例が多かったです。夏に流行したウイルスとは別のウイルスによるものです。市内では、左下のグラフの様に、昨年初夏から秋にかけて伝染性紅斑の大きな流行がありました。今年は、川西地区や昭和地区で小流行があるようです。治療もなく出席停止にもならないので、幼児以外は受診することは少ないです。家族内感染は多いようで、成人を含めて半数が感染したと話をしてくれた家族もいます。RSウイルス感染症は、山を超えましたが、まだまだ流行しており注意が必要です。感染性胃腸炎は少ないです。寒くなり、これからは嘔吐を主とするノロウイルス胃腸炎の季節です。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> 変更になりました。)